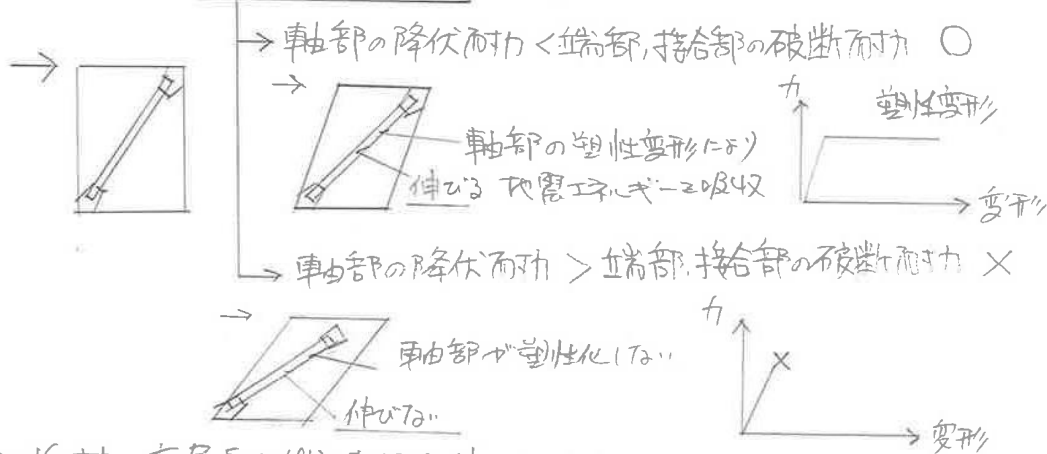


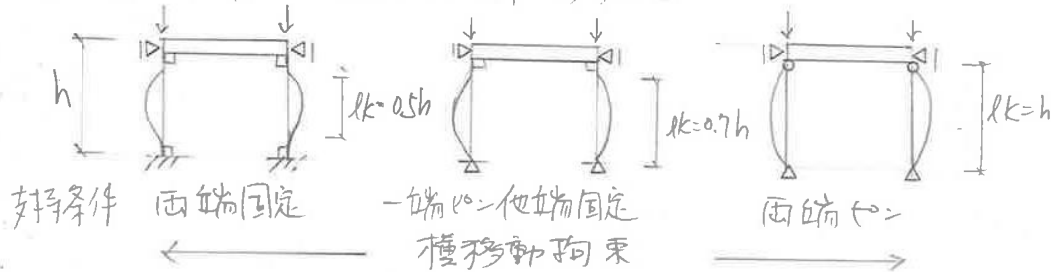
# 平成29年 No.15 鉄骨構造

1. 筋かいの保有耐力接合 → 筋かい軸部が塑性変形するため → 軸部の降伏耐力 < 端部接合部の破断耐力
2. 溝形鋼筋かいの断面積後減 → ボルト本数に応じた断面積の後減が必要
3. 柱材の座屈長さ → 横移動拘束両端の柱材の座屈長さは、節点間距離となる
4. 梁の横座屈を防止するための横補剛 → 均等に設ける方法と、端部に設ける方法がある

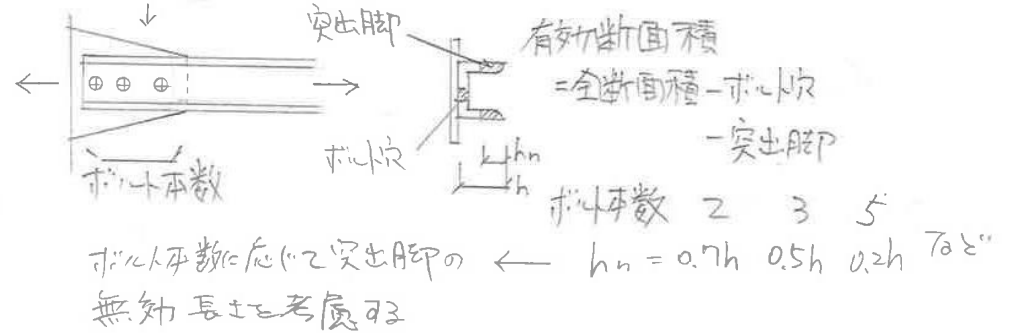
## 筋かいの保有耐力接合



## 柱材の座屈長さ(l<sub>k</sub>) → 支持条件により決まる



## 溝形鋼筋かいの断面積後減



## 梁の横座屈を防止するための横補剛

